



## アドビ、2020 年第 2 四半期の業績を発表

**Creative Cloud と Document Cloud への需要高く、過去最高収益を達成  
新規デジタルメディア分野の純 ARR(年間経常収益)が 4 億 4,300 万ドルを記録**

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください。

【2020 年 6 月 12 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2020 年 6 月 11 日) : Adobe (Nasdaq : ADBE) (本社 : 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、2020 年度第 2 四半期 (2020 年 5 月 29 日を末日とする) の決算を発表しました。

### 第 2 四半期の業績ハイライト

- 2020 年度第 2 四半期の収益は過去最高となる 31 億 3,000 万ドル、前年同期比 14% 増となりました。GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、2.27 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、2.45 ドル。
- デジタルメディア分野の収益は 22 億 3,000 万ドル、前年同期比 18% 増。うちクリエイティブ分野の収益は 18 億 7,000 万ドルに拡大し、Document Cloud の収益は 3 億 6,000 万ドルを達成。デジタルメディア分野の年間経常収益 (Annualized Recurring Revenue - ARR) は当四半期末時点で 91 億 7,000 万ドルに拡大し、前四半期比 4 億 4,300 万ドルの増加。クリエイティブ分野および Document Cloud の ARR は、それぞれ 79 億 3,000 万ドル、12 億 4,000 万ドルに拡大。
- デジタルエクスペリエンス分野の収益は 8 億 2,600 万ドル、前年同期比 5% 増。デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益は 7 億 700 万ドル、前年同期比 8% 増。Advertising Cloud を除いたデジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益は前年同期比 18% 増。
- 第 2 四半期の GAAP ベース営業利益は 10 億 2,000 万ドル、non-GAAP ベース営業利益は 13 億 4,000 万ドル。GAAP ベース純利益は 11 億ドル、non-GAAP ベース純利益は 11 億 9,000 万ドル。
- 営業キャッシュフローは 11 億 8,000 万ドル。

- 当四半期末時点の残存履行義務(Remaining Performance Obligation)は 99 億 2,000 万ドル。
- 当四半期中に約 260 万株を買い戻しました。

GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、[プレスリリース \(英語版\)](#) 末尾とアドビの Web サイトで説明します。

## 役員のコメント

アドビの会長、社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は次のように述べています。

「アドビの戦略である、世界で通用するコンテンツを生み出す力を顧客に提供し、重要な文書の処理作業を自動化、そして企業がデジタルを通じて顧客と関われるようにすることによって、第 2 四半期も過去最高の収益を達成することができました。世界中のあらゆる顧客層で起きている『すべてをデジタルに』という構造的転換が、わが社の成長戦略にとって追い風になり、今回の危機をうまく脱することができると考えています。」

アドビのエグゼクティブ バイス プレジデント兼 CFO であるジョン マーフィー（John Murphy）は、次のように述べています。

「アドビは困難な状況にもかかわらず、第 2 四半期も再び過去最高の収益を達成し、利益率を拡大することができました。当社のビジネスモデルの回復力の表れと言えるでしょう。第 2 四半期にデジタルメディア分野の純 ARR が過去最高を記録したことは、リモートワークにおいてミッションクリティカルなクリエイティブおよびドキュメントソリューションがいかに重要かと言うことを表しています。」

## Advertising Cloud の最新情報

アドビはまた、現在のマクロ経済環境を踏まえ、取引ベースのサービスで利益率が低い Advertising Cloud の規模を縮小するという、すでに発表済みの方針を第 2 四半期において大幅に加速しました。アドビは今後も引き続き Advertising Cloud ソリューションを提供します。マクロ経済環境および上記の方針変更により、Advertising Cloud の第 2 四半期の収益目標が受けた影響は、およそ 5,000 万ドルでした。

## アドビ、2020 年度第 3 四半期の財務目標

アドビが本日発表する第 3 四半期の財務目標は、現在のマクロ経済状況、パンデミックの継続的な影響、通例の夏期における需要の減退、Advertising Cloud に関する方針変更を反映しています。

次の表はアドビの 2020 年度第 3 四半期の財務目標を要約したものです。

2020 会計年度第 3 四半期収益合計	約 31 億 5,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年同期比約 16% 増	
デジタルメディア分野の純 ARR (年間経常収益)	純 ARR で約 3 億 4,000 万ドル	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年同期と同じ	
デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益	前年同期比最大 5% 増	前年同期比最大 14% 増 (Advertising Cloud を除く)
税率	GAAP: 最大 10%	Non-GAAP: 最大 10%
株式数	最大 4 億 8,500 万株	
1 株当たり利益 (EPS)	GAAP: 最大\$1.78	Non-GAAP: 最大\$2.40

アドビは、現在のマクロ経済状況および Advertising Cloud に関する方針変更を踏まえ、2019 年 12 月に発表した 2020 年度の財務目標を撤回します。

GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、[プレスリリース \(英語版\)](#) 末尾で説明します。

#### 将来的観測の開示 (Forward-Looking Statements Disclosure) について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性があるリスクおよび不確実性を内包した、事業の勢い、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックが事業および業績に与える影響、市場動向、顧客の成功、収益、利益率、営業利益、季節変動、年間経常収益 (ARR)、その他の営業外費用、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの課税率、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの 1 株当たり利益、株式数に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 競争において成果をあげることの失敗
- 顧客の必要に応える製品およびサービスの開発、獲得、市場投入、提供の失敗
- 新技術の導入
- 情報セキュリティおよびプライバシー
- アドビまたは第三者によって提供されるホステッド サービスに障害または遅延が生じる可能性
- マクロ経済の状況および新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックが経済に与える影響
- サイバー攻撃に関連するリスク
- 複雑な販売サイクル
- 当社のサブスクリプションサービスによる収益の認識タイミングに関連するリスク
- サブスクリプション サービスの更新比率の変動

- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗
- 第三者との重要な戦略的取引関係における成果達成の失敗
- 会計原則および税規則の変更
- 当社が事業を行っている国々における金融市場および経済情勢の不確実性
- 多国籍企業におけるその他のさまざまなリスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2019年11月29日を末日とする2019会計年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）、および2020年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は、現時点で得られる情報に基づいた推定を反映したものです。これらの数値は、2020年5月29日を末日とする四半期について2020年6月に提出予定の四半期報告書（Form 10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビはこれら将来的観測について情報更新の義務を負わず、当面は更新の意図もありません。

#### アドビについて

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。アドビシステムズ株式会社はその日本人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

©2020 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Inc. (or one of its subsidiaries) in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.